



台東区議会 自由民主党

高森きみこ

議会報告



26. 3-4

前台東区議会議長 自由民主党台東総支部女性部長

令和8年台東区議会第1回定例会が終わり、令和8年度の予算審査特別委員会を開催、私が委員長に選任され5日間の一般審査と総括質問を経て、一般会計予算、他5特別会計予算が決まりました。


一般会計予算は1532億円で前年より226億円、17.3%の増となりました。歳入の根幹である特別区税は317億6千万で、特別区民税が納税義務者数及び個人所得の見込み増、たばこ税も年間売渡本数の増加を見込み、特別区税全体で33億1千万円の増となります。特別区交付金は363億円で前年対比7.7%、26億円の増となります。地方消費税交付金は77.8億円、国庫支出金は241.6億円、都支出金は120.4億円、基金からの繰入金は201.3億円、特別区債は76億円、などが歳入の主なものです。一方で更なる税源偏在是正措置として、区の貴重な税源をさらに吸い上げる動きがあり注意が必要です。歳出では、子育て支援、高齢者・障害者へのサービスの充実、区有施設の整備や保全、DXの推進、災害対策の強化などの行政需要の増大に対応した予算となっています。また、物価高や労働力不足、変化する世界状況による生活への影響などに、国や都と連携しスピード感を持って対応する事が大切です。その時々々の区民の皆様の声を区政に届けて参ります。



令和8年台東区議会第1回定例会 令和8年2月6日～3月26日

令和8年度予算審査特別委員会3月5日～11日 総括質問19日 委員長報告26日 本会議

令和8年度一般会計予算1532億円の主な取り組みをご紹介します。

- 

こどもまんなか社会へ！区役所の6階に「こども家庭部」新設。
 ★(仮称)こどもの権利条例の制定 9年4月(令和4年3定一般質問で要請した)意見表明や権利擁護等の子供施策の基本的な視点を規定。8年7月—こどもの権利に関するアンケート及びワークショップ 10月パブリックコメント実施
- ★文化施設における子供料金の無償化 8年4月実施 区内在住・在学の子供料金無料にしたまちミュージアム・朝倉彫塑館・一葉記念館・書道博物館・旧東京音楽学校奏楽堂
- ★こども家庭相談支援 8年4月事業開始 適切な対応方法を学び、不安の軽減により児童虐待防止子供との関わり方や子育てに悩み、不安を抱えている4歳児～9歳児までの保護者を対象とします。年2クール(1クールあたり6回 6名) ①8年6月～7月 ②10月～11月
- ★修学旅行等の宿泊行事に係る費用を無償に 小・中学生 給食費・補助教材費に次いで充実
- ◆かがやき長寿ひろばの会場が増えます。8年4月 入谷・台東1丁目・谷中の各区民館に加え新規4会場=竜泉いきいきテラス、特養浅草、特養ほうらい、蔵前包括支援センター で実施します。60歳以上の区内在住者が対象=介護予防・趣味などの教室・サロン・イベントを開催します。
- ◆終活総合相談支援 8年5月・空き家の発生抑制・適正管理 8年4月 本人の希望する将来の生活と「終活相談」の窓口を設置します。住まいの終活に関するセミナーの実施



国立西洋美術館世界文化遺産登録10周年（令和7年3定決算総括質問で要請）
「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献」の構成遺産の一つとして、平成28年7月に都内で初めて世界文化遺産に登録され10年の節目。登録推進活動～現在までを振り返り、保全・継承・建築的文化的価値や歴史、松方幸次郎氏の功績やコレクションを広く伝え、本区の魅力を内外に発信します。

花の心プロジェクト10周年記念事業

花を慈しむ心とおもてなしの心を育み、心豊かでうるおいのあるまちを目指し平成28年からプロジェクトを推進、記念事業として、モザイクアートの作成・展示、講演会やワークショップの開催、スタンプラリー、花の装飾の設置、周知啓発を行います。



リチウムイオン電池・使用製品を収集と資源化を始めます。

4月排出・分別方法周知 リチウムイオン電池等に起因する火災が多く発生しています。7月からは破損や膨張の有無にかかわらず区が収集し、選別して資源化をしていきます。コンセントに繋がらないで使用する電気製品、モバイルバッテリーや携帯型扇風機、スマホ、掃除機など生活の中に多数ありますので廃棄に要注意。（令和7年4定一般質問で指摘）

防災対策の強化

- ◆災害時に使用する携帯トイレを区内全世帯に配布、各家庭での備蓄を促進（7年4定一般質問で要請）災害時におけるトイレ備蓄の必要性について区民の意識を高めるため、携帯トイレを全戸配布します。
- ◆被災状況に応じて、トイレが不足する地域に移動可能なトイレトラックを導入します。
- ◆二次避難所と帰宅困難者のための一時滞在施設との情報連絡体制を確保するため、IP無線機を配備。
- ◆コンセントタイプの感震ブレーカーの無償配布 地震時に延焼が拡大する恐れのある地域が対象
- ◆防災ポータルサイトを新たに開設します。災害時に必要な区からののお知らせや避難所開設情報、警報・注意報などの発表状況をリアルタイムで発信することで、区民への確実な情報伝達を図ります。

生涯学習センター11月 中央図書館12月リニューアルオープン

オンライン講座や、デジタルデバイスを使った学習スタイルに対応できるよう、ICTを活用した学習環境を整備。1階アトリウムに交流スペースを設置、学び交流できる場を提供します。各フロアに展示スペースを設け、生涯学習活動の成果である絵画や写真等の発表・鑑賞の場を創出、新たにスポーツコーナーを設置し、これまでのストレッチやヨガ教室に加え、障害者向けの教室を実施します。一元的外国人相談窓口を開設、対面・電話相談で支援体制



を強化。福祉作業所等の常設販売所の新設。中央図書館では、郷土・資料調査室の企画展コーナーを拡充するほか、新たにアクティブラーニングルーム「学び場」を設置し、図書資料等を活用した10代の学習機会の充実を図ります。座席予約システムの整備、池波正太郎記念文庫自筆原稿や自筆絵画のデジタル化

社会教育関係団体の連合体への事業助成の増額（7年3定決算委員会総括質問で要請）

小・中学校PTA連合会、幼稚園PTA連合会、美術、書道、華道茶道、合唱、川柳、短歌、写真等13団体

スマート窓口の整備＝転入・転出などの住民異動手続きを、住民記録データを元に申請書を作成する、「書かない窓口」へ、待ち時間の短縮を図ります。**コンビニエンスストアでの証明書の拡大**＝マイナンバーカードを利用してコンビニで新たに戸籍証明書と納税証明書・課税証明書を取得可能に 令和9年1月



観光客の受け入れ環境づくり 令和8年10月～

旅行出発前の観光客に向けたマナー啓発の実施＝マナー啓発動画の作成、公式SNS公式サイトでの発信 観光客参加型マナー啓発キャンペーンの実施

包括的な支援の推進 8年4月

支援が必要な人と早期に出会い、つながるための取組み。地域の活動の場へのアウトリーチや誰もが気軽に立ち寄れる交流の場の整備。8050 問題やダブルケア、ヤングケアラー、孤独・孤立や引きこもり状態の方など世代や属性を問わない相談と支援体制を強化し、多様な関係機関と連携し複雑な状況に対応。

